

報道関係者各位
プレスリリース

2018 年 4 月 23 日

株式会社 ウエスコ

〒700-0033 岡山市北区島田本町 2-5-35
TEL. 086-254-2111 FAX. 086-253-2098

路面下空洞探査車を導入したことをお知らせします

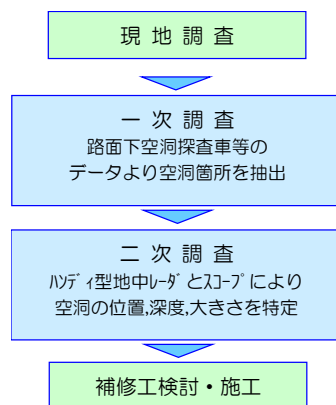
建設コンサルタントの株式会社ウエスコ（代表取締役：松原利直 岡山市北区島田本町）は、地中を可視化できる地中レーダを搭載した路面下空洞探査車（応用地質株式会社製）を導入した。

近年、地下インフラ設備の老朽化等が原因で発生した路面下の空洞に起因する道路の陥没が全国的に多発している。この陥没事故を未然に防止する有効な手段として地中レーダ探査が実施されている。

路面下空洞調査は、路面下空洞探査車等によりデータを収集、解析し、陥没発生のおそれのある空洞箇所を抽出する一次調査、抽出した箇所をハンディ型地中レーダとスコープで、空洞の詳細な位置、深度および大きさを特定する二次調査の2段階で実施する（右図）。

路面下空洞探査車は、ワゴン車の後部に地中レーダを搭載し、最高速度80km/hで走行しながら広範囲の道路を効率的に探査することが可能である。探査能力は、深度1.5mまでの範囲で、幅50cm×長さ50cm×深さ10cm以上の空洞を検知できる性能を有する。さらに、高精度のポジショニングシステムを備えており、空洞箇所を正確に把握できる。

今後、地中レーダ探査（地中の可視化データ）と三次元計測（地表面の三次元データ）技術を組み合わせた維持管理・メンテナンス事業に取り組んでいく計画である。



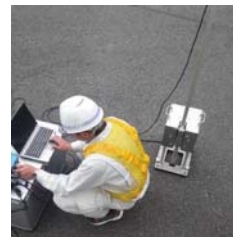
路面下空洞調査の作業フロー図



路面下空洞探査車



ハンディ型地中レーダ



スコープ

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ウエスコ 地盤調査事業部 藤原、濱田 TEL：086-254-2460（ダイヤルイン）